

遺伝的行動素因テスト - 30年の研究

30年以上にわたる研究、開発、および特許申請中の後援を受けて、Geneus Health は、物質嗜好および非物質渴望行動に対する遺伝的素因をよりよく理解するための遺伝的依存リスクスコア (**GARS®**) テストを作成しました。

医療におけるイノベーション - NIH 臨床試験

Geneus Health は、NIH (**National Institute of Health**) によって授与された臨床助成金を通じて、これらの研究をさらに推進するために、ハワード大学および National Human Genome Center と提携しています。

報酬欠乏症候群 (RDS)

GARS® テストは、依存性、衝動性および強迫行動の潜在的な遺伝的素因を特定するのを助けるように設計されています。このような有害行動の集合は、「報酬欠陥症候群」 (**RDS**) という用語に含まれます。

報酬欠陥症候群 または **RDS** は、脳の報酬センター、特に中脳および前頭前皮質における神経伝達物質 - ドーパミンの臨床的に有意な欠乏によって特徴付けられる脳障害です。それは主に遺伝的に獲得されますが、また、長期のストレスから生じることもあります。テキサス大学の神経科学および精神薬理学の教授であり有名な専門家であり、そして最近では Geneus Health の最高科学責任者である Kenneth Blum 博士はこれを依存性疾患と行動医学についての私達の理解に驚くべき進歩をさせる科学と研究を提供しました。

ドーパミンはなぜそれほど不可欠なのですか？

ドーパミンは私たちがどのようにして喜び、報酬、そして満足を経験しているかを仲介します。ドーパミンは、いくつか例を挙げると、私たちの種を中心とした生存促進、例えば食事、水分補給および生殖に直接関連する行動に「顕著性」を帰させる。最近の研究によると、おそらく米国人口の 30% もの人が遺伝的及び後天的な「ドーパミン欠乏症」を患っています。したがって、依存性疾患またはその他の衰弱性脳障害を発症するリスクは高まっています。ADHD、ストレス関連障害。性的強制、病的ギャンブル、快樂過食、肥満など。

RDS があるかどうかはどうやってわかりますか？

あなたがドーパミン欠乏症のために多くの遺伝子変異を受け継いでいて - そして特にストレスや悲しみの間に、ドーパミンレベルを上げる物質に晒されたり、行動をしたりするならば、あなたはずっと気分が良くなるでしょう - 少なくともしばらくの間。あなたは、あなたがストレス、退屈、悪い気分、悪い日、そして困難な人々への解決策を見つけたと結論づけるかもしれません。もちろん、この救済は一時的なものにすぎませんが、気分を人為的に変化させる方法を学ぶことは、少しの間だけであれば、RDS の物語の表れです。物質または行動を伴う自己治療は、依存性疾患への大きくて非常に重要なステップです。薬物および／またはアルコールの持続的使用はまた、脳内に報酬の不足を引き起こす可能性があります。すべての乱用薬物は人為的に脳のドーパミンレベルをスパイクするため、化学的に誘発される「高い」レベルになり、これは自然に達成できるレベルをはるかに超えています。しかし、上がるものは - 下がる必要があります。自然の変化とは異なり、薬物やアルコールによって高濃度に誘導された後は、ドーパミンレベルが不足します。ですから、気分を変える物質を使ったり、依存性のある行動をしたりして気分が良くなればなるほど、実際には気分が悪くなります。これが神経生物学的結果です。

通常、個人の脳がドーパミンレベルを補充して適切に機能するためには、持続的な禁酒が必要です。実際、オピオイドの場合、正常に戻るまでに約 3 年かかります。しかし、ドーパミンの不足は、小さなことではありません。それは「無快感」、すなわち幸せで満足していると感じることができず、そして自然な報酬と美を認めることができない状態を作り出します。多くの人にとって、禁酒だけでは十分ではないかもしれません。ストレス、社会的支援の乏しさ、その他の社会的および環境的な変化などです。結果として、再発が一般的です。

RDS は、私たちが物質使用障害、鬱病、不安、ストレス障害、注意と集中の問題、過食、肥満、賭博を概念化し治療する方法における重要な進歩です。RDS はまた、この問題をはるかに広く再検討することにより、新規および新規治療への扉を開いた。簡単に言うと:すべての障害に共通しているものは何ですか?答えは、脳の重要な部分のドーパミン欠乏です。薬物療法、心理療法、および社会的支援などの伝統的な治療法はほとんどの人にとって主力であり続けているが、それらは意図的なものであり、症状の軽減戦略です。しかし、RDS は、高精度の脳遺伝子変異適合神経栄養プロドーパミン調節薬療法 (restoreGen(登録商標)) のような数多くの新規かつ新規の治療法を明らかにしてきました。過去 10 年間にわたる多くのピアレビュー臨床試験は、RDS に関連する症状の統計的に有意な減少をもたらしました。しかし、時間が経つにつれて、ドーパミン報酬の恒久的な安定化を達成できるという新たな証拠があります。これまで一般集団では達成できなかった個体の遺伝的プロファイルは、誰が特定の薬理的治療から恩恵を受けるか、そして潜在的にドーパミン報酬安定性を達成するかを理解することが最も重要です。

これが、特許取得済みの GENETIC ADDICTION RISK SCORE (GARS®)テストが大きな影響を与える点です。40年近くに及ぶ研究、開発に支えられて、Geneus Health は GARS®テスト(単純な頬細胞スワブ)を作成し、人々が彼らの特定の遺伝的プロファイルおよび RDS のリスクを理解するのを助けます。GARS 名の中の単語「アディクション」を誤解しないでください。RDS 傘下のすべての障害は共通の病因(原因)と精神病理学(生物学的異常)を共有しています。